

卒業研究		演習	教授 岡野 武志
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300401

1. テーマ

経済・経営に関する諸課題の研究

2. ゼミのねらい・概要

各自が培ってきた知的基盤を基礎として、それぞれの課題認識に基づく研究テーマに取り組み、卒業論文を完成させることをねらいとする。卒業論文の作成を通じて、知識に基づいた論理的な思考力とそれを分かりやすく説明する力を高め、社会人として活躍するための実践的な力量（経営企画・人事・経理・財務・マーケティング等）も身に付けられるよう指導する。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は概ね以下のとおりとするが、研究の進捗や興味・関心の広がり等を見極め、適宜、見直ししながら進める。

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス/テーマ選定のアプローチ	1. ガイダンス（論文の構成と展開）
2. 卒業論文指導①（社会経済の調査と統計）	2. 卒業論文の中間発表①（学生3－4名）
3. 卒業論文指導②（企業行動の理解）	3. 卒業論文の中間発表②（学生3－4名）
4. 卒業論文指導③（財務情報の分析）	4. 卒業論文の中間発表③（学生3－4名）
5. 卒業論文指導④（非財務情報の分析）	5. 卒業論文の中間発表④（学生3－4名）
6. 卒業論文指導⑤（データ分析の基礎）	6. 卒業論文の中間発表⑤（学生3－4名）
7. 卒業論文指導⑥（先行研究の考察）	7. 卒業論文の中間発表⑥（学生3－4名）
8. 卒業論文指導⑦（研究の企画と計画）	8. 考えを表現する工夫
9. 卒論テーマの口頭発表①（学生3－4名）	9. 卒業論文の最終発表①（学生3－4名）
10. 卒論テーマの口頭発表②（学生3－4名）	10. 卒論論文の最終発表②（学生3－4名）
11. 卒論テーマの口頭発表③（学生3－4名）	11. 卒業論文の最終発表③（学生3－4名）
12. 卒論テーマの口頭発表④（学生3－4名）	12. 卒業論文の最終発表④（学生3－4名）
13. 卒論テーマの口頭発表⑤（学生3－4名）	13. 卒業論文の最終発表⑤（学生3－4名）
14. 卒論テーマの口頭発表⑥（学生3－4名）	14. 卒業論文の最終発表⑥（学生3－4名）
15. 前期まとめ（テーマとプロセスのブラッシュアップ）	15. まとめ（課題の発見と解決）

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ① 各自が取り組んでいる研究テーマに関する知識の習得・分析・考察等の計画的な実施
- ② ゼミ時間における研究進捗の口頭発表、中間発表および最終発表に向けた準備
- ③ 他のメンバーの発表等から得た示唆の整理と自身の研究への反映
- ④ 卒業論文の計画的な執筆

なお、①と③の実施には週3時間以上、②の実施には事前準備として3時間以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究進捗の口頭発表、中間発表および最終発表について個別にフィードバックする。また、卒業論文はその進捗等に応じて適宜コメントし指導する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

習得してきた基礎知識を整理・応用して研究テーマに取り組み、卒業論文として成果物にまとめる。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取り組み姿勢（40%）と成果物（卒業論文：60%）を総合して評価する。

8. テキスト・参考文献

各メンバーの研究テーマに必要なと思われる文献等を個別に指示する。

9. 受講上の留意事項

自身の研究だけでなく、他のメンバーの研究にも関心を持ち、ゼミに積極的に参加する姿勢が求められる。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。このゼミは金融機関，経営企画，調査研究（シンクタンク）等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。